



TITLE:

財政学界の巨星

AUTHOR(S):

井藤, 半弥

CITATION:

井藤, 半弥. 財政学界の巨星. 経済論叢 1959, 84(6): 480-480

ISSUE DATE:

1959-12

URL:

<https://doi.org/10.14989/132718>

RIGHT:

經濟論叢

第(十四)卷 第六號

故名誉教授神戸正雄博士遺影および筆蹟・原稿				
統計学＝社会科学的認識手段論の 問題点……………	大	橋	隆 憲	1
資本主義の運動法則における 論理的なものと歴史的なもの(二)…	吉	村	達 次	17
急速税務減価償却をめぐる 所得税会計の保守主義……………	高	寺	貞 男	37
ヘンリ・ジョージについての 一考察…	北	沢	康 男	55
ソースタイン・ヴェブレンに関する 一研究……………	中	山	大	68
神戸正雄先生による 再保険特約方式の輸入……………	佐	波	宣 平	85
記 事				
神戸先生御逝去……………				91
追 憶 文……………				96
新 村 出	井 藤 半 弥	本 庄 榮 治 郎	小 島 昌 太 郎	
石 川 興 二	嶋 川 虎 三	大 谷 政 敬	小 山 田 小 七	
堀 江 保 蔵	島 恭 彦	松 井 清		

昭和三十四年十二月

京 都 大 學 經 濟 學 會

財政学界の巨星

井 藤 半 弥

神戸先生が、わが国の財政学界の最高權威として、ながく学界をリードしておられたことは、いまここで、あらためて述べるまでもないことである。シャンソ教授の高弟として外国学界でも、その業績はたかく評価されている。私がはじめて先生の声款に接したのは、京大を停年で御退職されてからである。たしか昭和十五年のことであつたかと思う。日本經濟政策学会の創立の準備会が、一橋講堂内の一室でひらかれたときのことである。それから後、最近にいたるまで日本財政学会その他の学会や、いろいろの委員会の席で、たえず先生の重厚な溫容に接し、ひたしく御指導を仰ぐことができた。ここ一兩年來、先生が東京にこられる回数が少くなり、私も何かと雜務におわれて、会合には欠席がちとなつたりして、拝眉の機会が少くなつていた。健康を害しておられるという話も耳にしたが、数カ月前に公開した拙著を贈呈したとき、いつもの通り御丁寧な挨拶状をいただいたりしておつたので、かくも急に永眠されるとは予想もしていなかつたのである。先生御逝去の新聞記事をみて、愕然としておどろき、かつ悲んだ。

私は率直にいいたい。私の今日までの奮闘生活で、財政学の

研究の上において、私をもっとも力強く導いてくれたものは、先生の諸研究、ことに『租税研究』である。私が何か財政学、ことに租税の学説について勉強をはじめようとするとき、内外国の文献のうち、まず第一に繙くものは先生の諸著作、ことに『租税研究』であつた。これを手引きとして研究をすすめてきた。これは私が過去三十年以上の間とりつづけた方法であり、今後も終生かわらず、つづけることと思う。三十年も以前に出版された書物が、いまでも、私の第一の、また最高の指南の書となつてゐる。不幸にして先生の研究室において指導をうける機会にめぐまれなかつた。しかし書物を通じて、私を、もっとも強く啓示された財政学者は神戸先生であつた。

先生について、つよく印象づけられている事實は、先生が純学究で終始されたことである。関西大学長や京都市長として、学校行政や都市行政に關与されたことはある。しかし、これは、短期間のことであり、またもとの学究生活に復帰せられた。學問ないし真理の探求を一生の仕事とするものが、それ以外の生活に心身を勞すことは、これも率直にいつて必ずしも望ましいこととは、いえない。先生は八十二年のながい一生を通じて、學者生活をもつて一貫されてきた。この点もわれわれの鑑とすべきものである。先生と縁のふかい関西大学で近く日本財政学会の総会がひらかれることとなつてゐる。先生のお姿に接し得なくなつたことは、まことに遺憾至極のことである。